

令和6年度「社協の総合相談」をすすめるための関連研修 (社協コミュニティソーシャルワーク研修) “社協基礎研修” 開催要項

1. 趣旨

昨今、社会的孤立・排除や世帯の複合課題、制度の狭間など地域における課題は多様化しており、生きづらさを抱える人々が増加している中、個別課題への対応と地域づくりの両輪で住民の生活課題に対応していく包括的な支援体制の構築や重層的支援体制整備事業の実施が進められていますが、この動きは、社協にとって決して新しくなく、社協が目指してきた「社協の総合相談」と重なるものです。

社協がこれからも、住民主体の理念に基づき、地域住民や地域の関係者とともに、誰もが安心して生活できる地域づくりを推進していくために、本研修では、受講する個々の社協職員が新たな学びにより社協の位置づけや方向性を再確認し、「社協の総合相談」を活かして、社協のコミュニティソーシャルワーク力を高めるとともに県域での社協職員のネットワークを構築していくことを目指します。

2. 研修の位置づけ・研修実施にあたって

市町村社協部会では、「社協・地域福祉事業推進プロジェクト」を設置し、「社協職員の専門性と組織特性を踏まえた職員育成のあり方」について議論を進め、「かながわ版社協職員育成指針 2022」としてまとめました。

本研修は、育成指針における「住民や関係者の主体性を引き出し、多様な主体との協働で個と地域をつなぐ地域福祉を展開することのできる職員の育成研修体系」に位置づいています。

研修実施にあたっては、以下のような社協の特性・社協をとりまく現状を踏まえる必要があります。



〈社協の特性・社協をとりまく現状〉

- 社協が軸を置く地域福祉は奥が深く、社協の仕事も奥深いです。社協を理解してもらうには、社協の多面性を理解した上で、目の前にいる人に通じる言葉で説明するチカラが求められます。
- 社協は社会福祉法人ですが、施設等を経営する社会福祉法人とは異なり、住民や地域関係者との協働による組織運営体制を持ち、協働で地域福祉課題に取り組む特殊性があります。このような社協特有の立ち位置を理解し、社協に求められている機能・役割を果たしていくこと、そのための事業・活動を効果的に展開していくことが、社協の専門性であり、社協職員に求められるスキルです。
- 社協事業は、行政との関係やその時の社会経済状況等の影響を受けます。社協職員の育成について考える時、社協組織特有の事情からくる「社協独自のトップマネジメントの見えにくさ」「組織理念共有の難しさ」「社協の専門性についての共通理解の難しさ」を押さえておくことが重要になります。
- 地域共生社会の実現、包括的支援体制構築の動きの中において、社協は、住民、地域関係者との協働による地域福祉のけん引役としてリーダーシップを発揮していく必要があります。そのためには、一人ひとりの職員が社協の価値を再確認しながら、組織一丸となった「社協の総合相談」をいかに展開するかが大きなポイントになります。

3. 研修の構成

社協コミュニティソーシャルワーク研修は、講義中心の「社協基礎研修」と、受講する社協職員の問題意識や主体性を重視して行う「社協ゼミナール」の2種類に分かれています。

「社協基礎研修」では、社協事業を考える上での基礎を再確認しながら、コミュニティソーシャルワーク実践方法を学び、共有することで地域共生社会の実現にむけた社協について学んでいきます。

令和6年度は、4日間の研修を開催いたします。1日で完結する研修のため単発での受講も可能ですが、関連する内容もございますので、4日間の受講をおすすめいたします。

4. 主催

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 市町村社協部会

5. 対象・定員

- 基本として社協入職3年から15年程度の社協職員
- 各研修60名程度

※正規・非正規の雇用形態は問いません。上記以外の経験年数の参加も可能です。

6. 受講料

無料

7. 申込方法

下記 URL または右記二次元コードからGoogleフォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

申込 URL: <https://forms.gle/iMPnqPHvL8NA9x1B8>

※申込期限は研修ごとに異なります。申込期限をご確認の上お申込ください。



8. 実施科目・日時・会場・申込期限

日時	会場	申込期限
【第1日目:ソーシャルワークの基礎】 令和6年8月5日(月) 14:00~16:30 ※受付は13:45~	神奈川歯科大学附属横浜クリニック・ 横浜研修センター 7階 大会議室	令和6年 7月22日(月)
【第2日目:社協の基本理解】 令和6年8月28日(水) 14:00~16:30 ※受付は13:45~	神奈川県社会福祉センター 3階 301~303	令和6年 8月14日(水)
【第3日目:当事者の声から考える社協活動の出発点】 令和6年10月11日(金) 14:00~16:45 ※受付は13:45~	神奈川歯科大学附属横浜クリニック・ 横浜研修センター 7階 大会議室	令和6年 9月27日(金)
【第4日目:地域共生社会の実現に向けた社協事業】 令和6年11月12日(火) 14:00~16:45 ※受付は13:45~	神奈川歯科大学附属横浜クリニック・ 横浜研修センター 7階 大会議室	令和6年 10月29日(火)

9. **プログラム等** ※プログラムは変更する場合があります。

【第1日目】日時:令和6年8月5日(月)14:00~16:30 ※受付は13:45~

会場:神奈川歯科大学附属横浜クリニック・横浜研修センター 7階 大会議室

テーマ	ソーシャルワークの原点に戻り、地域福祉のこれからを考える	
内容	<p>現代の社会福祉の源流の一つは、民間慈善事業家が実践した困窮世帯への家庭訪問、救済施設、セツルメント運動であるとされ、それらの活動は、「ソーシャルワーク」への発展と、社会福祉の基礎が築かれることに繋がりました。</p> <p>第1日目の「ソーシャルワークの基礎」では、社会福祉の理念に立ち返り、ソーシャルワークにおける価値に着目しながら、生活者の視点に立ったその人らしい暮らしとは何か。誰もが安心して生活できる地域づくりを推進する社協で展開するソーシャルワークについて考えていきます。</p> <p>※ソーシャルワークの具体的な方法や技術を学ぶ研修ではありません。</p>	
プログラム	時間	内容・講師
	14:00~14:05(5分)	開会
	14:05~15:05(60分)	講義 「その人らしく“生きる”を支える」
		加藤 彰彦氏 (沖縄大学 名誉教授/横浜子ども・若者が孤立しない地域づくり研究会 会長)
	15:05~15:25(20分)	質疑応答・休憩
	15:25~16:05(40分)	小グループに分かれ対話
	16:05~16:25(20分)	全体共有・まとめ
16:25~16:30(5分)	閉会	

【第2日目】日時:令和6年8月28日(水)14:00~16:30 ※受付は13:45~

会場:神奈川県社会福祉センター3階 301~303

テーマ	地域福祉の本質と社協職員の使命~ピンチはチャンス、正解のない実践に向き合う~	
内容	<p>市町村社協の法制化から40年が経過し、社協はこれまで、地域福祉の推進を目指して様々な事業を展開してきましたが、この間の社会経済状況の複雑化や地域福祉の政策化・施策化の進展により、取り組むべき課題や役割がますます広がっています。</p> <p>第2日目の「社協の基本理解」では、その時々々の社会情勢を踏まえた社協活動の実践を振り返る中で、社協が置かれている状況や課題を明らかにします。また、社協の組織特性への理解を深め、社協職員として変わらずに大切にしたいことやめざすべき姿を考えていきます。</p>	
プログラム	時間・内容	講師
	14:00~14:05(5分)	開会
	14:05~15:05(60分)	講義 「大津市社協の実践から学ぶ 社協の組織特性を生かした事業展開」
		山口 浩次氏 (龍谷大学 特任教授/元大津市社協・事務局次長)
	15:05~15:25(20分)	質疑応答・休憩
	15:25~16:05(40分)	演習
	16:05~16:25(20分)	全体共有・まとめ
16:25~16:30(5分)	閉会	

【第3日目】日時:令和6年10月11日(金)14:00~16:45 ※受付は13:45~

会場:神奈川歯科大学附属横浜クリニック・横浜研修センター 7階 大会議室

テーマ	生きづらさの顕在と潜在	
内容	<p>社協は、住民主体の理念に基づき、ひきこもり等の生きづらさを抱えた当事者に寄り添いながら、地域福祉の解決に取り組み、誰もが安心して暮らせる地域福祉の実現を目指していますが、実践に生かされていない面があるのではないのでしょうか。</p> <p>第3日目の「当事者の声から考える社協活動の出発点」では、当事者の体験談や社協活動の実践報告から、誰もが自分らしく生きることができる地域社会とは何か、社協職員が向き合う姿勢や持つべき視点を考えていきます。</p>	
プログラム	時間・内容	講師等
	14:00~14:05(5分)	開会
	14:05~14:45(40分)	導入(課題提起) 「生きづらさとは何か」 関水 徹平氏(明治学院大学 准教授)
	14:45~15:05(20分)	ひきこもり経験者による体験談 割田 大悟氏 (ひきこもり当事者グループ「ひき桜」in 横浜 代表)
	15:05~15:25(20分)	ひきこもり支援に関する社協活動 民實 久美氏 (大和市社会福祉協議会 やまとボランティアセンター ボランティア振興課 課長補佐)
	15:25~15:50(25分)	質疑応答・休憩
	15:50~16:20(30分)	小グループに分かれ対話
	16:20~16:40(20分)	全体共有・まとめ
	16:40~16:45(5分)	閉会

【第4日目】日時:令和6年11月12日(火)14:00~16:45 ※受付は13:45~

会場:神奈川歯科大学附属横浜クリニック・横浜研修センター 7階 大会議室

テーマ	住民のチカラとともに、地域を、社会を変えていく	
内容	<p>社会環境等の変化により「個」の生活スタイルは多様化し、そのニーズに对应していくためには、公的な制度や従来型のインフォーマルなサービスの活用だけでは賅えきれなくなっていることから、地域を基盤とした支えあい活動の構築が強く求められています。</p> <p>第4日目の「地域共生社会の実現に向けた社協事業」では、住民や関係者の主体性を引き出し、多様な主体との協働で個と地域をつなぐ社協事業をどのように展開していくか。コミュニティ・オーガナイズの考え方に基きながら社協実践の紐解きを通して、社協の役割や存在意義、社協職員に求められる専門性について考えていきます。</p>	
プログラム	時間・内容	講師等
	14:00~14:05(5分)	開会
	14:05~14:45(40分)	講義(課題提起) 「多様化・深刻化する生活課題と コミュニティ・オーガナイズに基づいた社協事業の展開」 室田 信一氏(東京都立大学 准教授)
	14:45~15:05(20分)	実践報告① 栢沼 拓也氏 (箱根町社会福祉協議会 総務係 庶務担当 係長)
	15:05~15:25(20分)	実践報告② 田代 秀之氏 (相模原市社会福祉協議会 緑区事務所 副主幹兼所長代理)
	15:25~15:50(25分)	質疑応答・休憩
	15:50~16:20(30分)	小グループに分かれ対話
	16:20~16:40(20分)	全体共有・まとめ
	16:40~16:45(5分)	閉会

10. 問い合わせ先

神奈川県社会福祉協議会 地域福祉部 地域課:五十嵐

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター12階

TEL:045-312-4813 FAX:045-312-6307 E-mail:tiiki@knsyk.jp

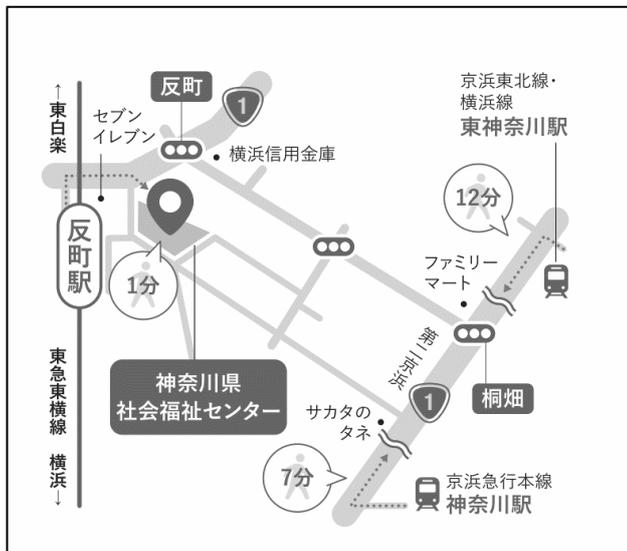
【会場案内図】

■神奈川県社会福祉センター3階 301~303

日時:【第2日目】令和6年8月28日(水)14:00~16:30 ※受付は13:45~

住所:横浜市神奈川区反町3-17-2

交通アクセス:東急東横線「反町駅」から徒歩1分、京浜急行本線「神奈川駅」から徒歩7分、京浜東北線・横浜線「東神奈川駅」から徒歩12分



■神奈川歯科大学附属横浜クリニック・横浜研修センター 7階 大会議室

日時:【第1日目】令和6年8月5日(月)14:00~16:30 ※受付は13:45~

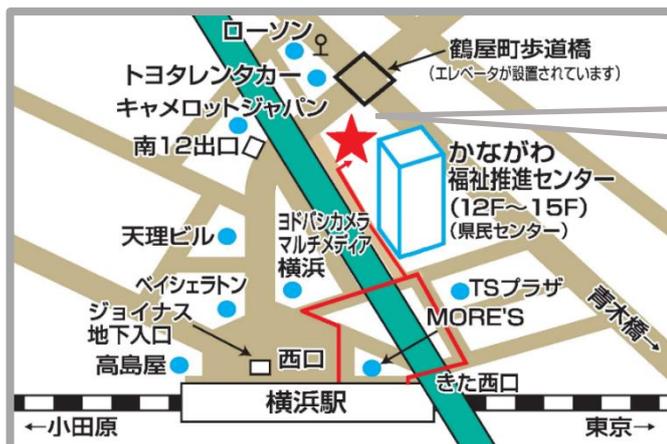
【第3日目】令和6年10月11日(金)14:00~16:45 ※受付は13:45~

【第4日目】令和6年11月12日(火)14:00~16:45 ※受付は13:45~

住所:横浜市神奈川区鶴屋町3-31-6

交通アクセス:横浜駅きた西口から徒歩5分(かながわ県民センターの並びにある建物です)

※神奈川歯科大学附属横浜クリニック・横浜研修センター敷地内の駐車場は、基本的に患者用となるため、公共交通機関の利用をお願いいたします。



神奈川歯科大学附属
横浜研修センター

<横浜駅から徒歩の場合>

①かながわ県民センターを通過、川沿いを直進する



②クリニック入口からは入らず、奥の研修センター入口まで進む



③クリニック裏口・研修センター入口から入場

